

それは未来への投資

人にも地球にもやさしい新アスファルトプラントの導入



CO₂を-50%

持続可能な地球環境のために、CO₂排出量の削減を実現する。

それは、産業活動を行う企業としての責任でもあり、使命でもあります。

私たち石橋建設興業(株)は、2030年度にCO₂排出量の50%削減、

2050年度には100%の削減を目標に掲げて、プラント整備を拡充。

これにより、約50%(*)のカーボンオフを実現します。

※SHIFT事業の実施計画による。新プラントのCO₂排出量は442tとなり、旧アスファルトプラントの排出量880t(令和2~4年度の平均値)に比べて、49.7%削減。

2024

2030

2050

カーボンニュートラルを実現する



人にも、地球にもやさしい、進化系プラントへ

2024年2月、カーボンニュートラルに向けた脱炭素化のロールモデル企業を目指して

操業開始から半世紀近くにわたり稼働してきた、アスファルトプラントを刷新!

最新技術を採用し、CO₂排出量を旧プラントの半分程度まで削減することが可能になりました。

地域のみならず仲間と手を携え、次代のニーズに応えていく、そんな未来を叶える新しい一歩です。

Changes for the future

新しいアスファルトプラントには、アスファルト生成ユニットとリサイクルユニットが融合した次世代プラントを導入。

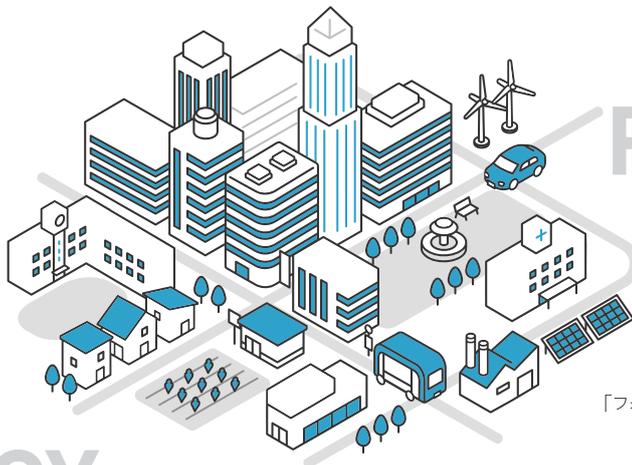
安全性やメンテナンス性が大幅に向上し、燃料や電力源の転換により環境性能も高まりました。

Change 01 FUEL 燃料転換

新プラントでは、燃料として都市ガスを使用。
旧プラントで使用していたA重油に比べると、
燃料換算において約28%のCO₂削減が可能です。
SOxも発生せず、よりクリーンな環境を実現します。

Change 02 ENERGY 太陽光発電

ストックヤードの屋根に太陽光パネルを設置しました。
太陽光で自家発電した電力をプラントに供給し、プラントにおける消費電力の補填を行います。



Change 03 PRODUCT フォームド アスファルト

高温時のアスファルトに
少量の水を噴霧し泡状にする
「フォームドアスファルト」の製造装置を新たに装備。
製造・施工温度を30℃程度低減することにより、
CO₂削減や早期交通開放などに寄与します。

新プラントにはさまざまな取り組みを採用し 地域や職場環境の改善と、CO₂排出量半減を図ります。



ドライブスルー

アスファルトの積載スペースに、ドライブスルー方式を採用。ダンプカーのバック発進時は事故リスクが高まるので、バックする必要のないレイアウトにしたことで安全性を向上しました。



プラントを外装

プラント全体に外装を施すことで、粉塵および騒音の拡散防止を図ります。外装によって景観性も高まり、周辺環境との調和も図ることができます。



排風機インバーター

これまでの排風機モーターは常に全開で稼働していたがインバーター制御することにより、モーター回転数を最適化し無駄な消費電力を削減することが可能になりました。



粉塵対策

局所集塵機を採用し、集塵したダストを材料として再利用します。またプラント内部も、集塵ダクトによって粉塵の堆積を抑制。メンテナンス頻度の低減と環境改善を図ります。



LEDライト

プラント内を明るく照らすには、高出力の照明が必要です。新プラントではこれらの照明をすべてLEDライトに変更し、消費電力を抑えています。

新アスファルトプラントは、脱炭素化に貢献する取り組みを支援する環境省のSHIFT事業に採択されています。